

第5回 定例教育委員会議事録		日 時 : 平成29年5月23日 (火)	
		場 所 : 3階中会議室	
開会、閉会に関する事項		10時00分 開会 10時57分 閉会	
出席委員	教育長 森 和 範 永 野 治 川 原 惟 昭 長 野 則 夫 久保田 悦 子	議場に出席した者の氏名	総 務 課 長 大 山 勝 徳 学 校 教 育 課 長 高 崎 良 一 社 会 教 育 課 長 中 村 政 仁 文 化 ス ポ ー ツ 課 長 山 元 国 枝 給 食 セ ン タ ー 所 長 田 中 健 一 書 記 万 膳 正 見 書 記 新 納 誠 朗
議事日程	別紙のとおり		
審 議 状 況			
<p>(森教育長) それでは、ただいまより平成29年第5回定例教育委員会を開会します。</p> <p>(万膳係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。</p> <p>(森教育長) 「平成29年第4回定例教育委員会議事録の承認」を議題とします。事務局より報告をお願いします。</p> <p>(万膳係長) 平成29年第4回定例教育委員会議事録について報告(別紙概要報告書により報告)</p> <p>(森教育長) ただいま事務局より前回の議事録の報告がありました。ご質問等ないでしょうか。</p> <p>(全員) ありません。</p> <p>(森教育長) 質問がないようですので承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(全員) はい。</p> <p>(森教育長) 平成29年第4回定例教育委員会議事録については、承認いたしました。 続きまして、教育長及び委員の報告に移ります。</p> <p>(森教育長) それでは、お手元の教育長諸般の報告に基づき平成29年4月25日から平成29年5月22日までの報告をいたします。</p> <p>(別紙諸般の報告により日を追って報告)</p> <p>(森教育長)</p>			

委員の皆様方から、ご報告等ございましたらお願いしたいと思います。永野委員の方からお願いします。

(永野委員)

4月から出会が多くて、皆様方、共通のところに出ておりますので、違うところですね。5月14日、日曜日、始良・伊佐地区の子ども会育成連絡協議会で行っている指導者育成者研修会を毎年やっております。実際は始良・伊佐ですから持ち回りで開催しているのですが、2年前から一緒にやろうということで、霧島市の方でやっているのですが、内容としては霧島市の市子連とタイアップされて、やるということで。霧島市は旧市町が多いですので、そこがメインになって集めてきますので、それに地区も一緒に一か所でやろうということでやっているんです。いかんせん出席者が霧島市は多い訳です。当然です。そういう体制ができていますので。地区もしているが、事務局任せになっているところがありまして、地域のスキルアップができていないものですから、研修などを通じて行くと必要性が出てきますので、そこを手当てしたいなあと、実際行ったのも役員だけなのですよ。非常にもったいなあと。大会は良いのですが、研修会は底辺を広げる手立て。参加者がいたらマイクロバスでも借りる体制にはなっていると思うんですが。内容は前の県社会教育課の係長。今、小学校の校長先生なんですが、講義を持っておられて、23年の時も研修会に来てもらってトークも上手いし、社会教育に慣れていらしゃいまして、非常に良い研修会でした。それと、各地区の発表もあります。伊佐市はなかったが、霧島と始良で発表がありました。県の会長も来られました。そういうのを今の育成者、保護者の方は垣間見れない状況が続いている気がするのですけれど。そこに伊佐も、もうちょっと行く体制を、教育委員会の方で同じように研修体制ができればなあとってはいるのですけれど。なかなか参加者がいない、せっかく良い研修会なんですけれど、以前は、強引にPTA割り当てなどして参加していたのですけれど。そういうことも必要なのかな、我々は考えていけないと。それを活かしたいなという気持ちで帰って来ました。

(森教育長)

社会教育課は誰か参加していませんか。

(永野委員)

担当の瀧上君が行きました。

(中村社会教育課長)

担当と役員の出席です。

(永野委員)

早く言えば、若手が来ないということです。PTA総会の後の情報交換会、そういうのも無いから、非常に役員と保護者の距離感が、離れつつあることを危惧しています。大口市時代の頃は情報交換会をやっていたんです。難しくなってきたのか、分からないのですけれど。どうしても持ち回りをして、今回から地区の子ども会大会も伊佐会場と始良会場と二つしていたんですが、どうしても1か所ですると。人も集まらないから遠いところだと、地区は一つで良いのじゃないかと、今年から持ち回りにしました。その代り伊佐市は市の子連独自でしないとイケないということで、それは入っているので良いのですが。研修会は持ち回りになったが、伊佐でした場合に霧島市が皆来るかということがあるのですから、こちらはした方が集まり易いし、研修会だけは残しているんです。一か所ですと、外は持ち回りで、3市1町で。研修会が伊佐に来ることはないですから、それぞれの体制がちょっと厳しいです。

(森教育長)

川原委員、お願いします。

(川原委員)

色々行事がありました。昨日の、教育委員会は関係ないのですが、山野小のOBの方が、昨日、山野小で、南極観測船「しらせ」の乗組員になっていて、その人がビデオを持って来たりしていて体育館で講演会があったらしいです。そのPRがもうちょっとあれば、それを聞きに行く、見に行く人も多かったのになあ。地域の人もほとんど知らなくて問い合わせがあったりして、既に終わった後でニュースを見て知りましたということで。貴重な体験の話があったらしくてですね。私もテレビで見ただけで講演の内容は知りませんでしたけれども、知り合いから電話が掛かってきました。もっと事前に連絡いただければなあと思いました。

(森教育長)

山野コミュニティがしたのですか。

(久保田委員)

小学校じゃなかったですか。

(川原委員)

「しらせ」の乗組員、松山さんという人だったか、私は面識がないんですけど。40代、何年卒という紹介があったらしいですけど。あんまり大々的に案内しても混雑するかもしれませんが。コミュニティの会長さんが案内したので、コミュニティは知っていたと思うのですが。PRが欲しかった、事前の案内が欲しかったという意見がありました。

(森教育長)

長野委員。

(長野委員)

はい。いろいろ出る機会がありましたが、始良・伊佐地区の教育委員会の総会で久しぶりに寺園教育次長のものすごく心に伝わる講話をいただいて、僕たちもですけども、伊佐の教職員の方々にも寺園先生のパワーを伝えないといけないなあと感じました。それから県の総会も行ったんですが、「子どもたちに伝えたい西郷どんの魅力」ということで非常に楽しみに講話を聞いていたんですが、分かりにくい講話じゃなかったのかな、もう少し崩して、子どもたちに伝えられることができたんじゃないかなというふうに思いました。それから、昨日、学校訪問に行きまして、大口東小は素晴らしい学校で、初回にして最高の学校訪問ができたと思いました。針持小学校は途中で抜けて申し訳ありませんでしたが、夏休みの期間中に外国の方が来て、子どもたちとふれあい活動をするというのは、非常に生の英語力を着けるには最高の環境というか、教育ができるのではないかと感じて感心する次第でございました。

(森教育長)

久保田委員、お願いします。

(久保田委員)

はい。伊佐さわやかあいさつ運動が各コミュニティを主体にということで、菱刈校区が毎月1日をあいさつ運動ということで展開したので、それに一緒に合わせてするようにしたのですが、私たちはいろんなところを回っているので、いろんな学校のあいさつという、それぞれの特色とか、地域性もあって見てはきているんですが、子どもたちは見る機会は無いので、もう少し地域の方があいさつの仕方というのを、やっぱり止まってあいさつをするという習慣を。

そういうあいさつをされると私たちも気持ちが良いので、自分たちも心がけて、そういう姿勢を見せて、子どもたちに見せていかないといけないのかなあと感じながら小学校のあいさつ運動に立ったところでした。

今日菱刈小学校のコミュニティ・スクールの学校運営協議会がありまして、第1回目の。運営員の委嘱状をいただいてきたんですが、これからそういう面にも関わりながら地域の学校をもっともっと大事に盛り上げていかないといけないのかなあと感じたところでした。以上です。

(森教育長)

ありがとうございました。菱小と言えば、「土曜いきいき講座」の開講式の時にすごくしっかりした子がいて、はいという返事とうなずき。菱刈小の子どもでした。

(永野委員)

よろしいですか。川原委員には言ったのですが、出所がまだ定かじゃないもんだから。東京の人の話で、最近、山野小で全国の絵画で表彰をもらった人がいると電話があったものだから。そこを良く聞かなかったのだけれど、食育か何かですが、我々も聞いていないなあと。

(長野委員)

あれは食品衛生協会の食中毒防止の全国版のポスターに載ったんです。

(永野委員)

ああそうですか。全国で特選か何かだったのでしょ。東さんという子どもさんらしいです。教育委員会は把握されてますか。

(森教育長)

直接は来てないのですよ。

(長野委員)

学校側から食品衛生協会の方に、伊佐地区の方にやっている。ポスターと俳句と。我々がその審査員をして、それを全国が取り上げてくれたんです。

(永野委員)

ポスターを見たんだって、伊佐の山野小と書いてあったというので。

(長野委員)

ちょうど手洗いをしている子どもが逆さまになっているポスターがあると思うんですけど。

(森教育長)

教育長室で伝達をされるといいですね。こちらの代表者はだれですか。

(長野委員)

今の会長は中村周二さんです。

(森教育長)

中村周二さんから伝達をしてもらってね。広報誌に載せるとかね。

(永野委員)

子どもたちが活躍しているわけですから。

(森教育長)

校長会でも話しておきましょう。

(永野委員)

すっかりしました。

(長野委員)

我々が手洗い指導ということで各小学校に行って、最初始めたのが湯之尾小学校がスタートで、大口小学校、東小も行ったと思うのですが、平出水小学校とか。10年ぐらい経っているです。全国でもケースは珍しいということで伊佐地区の食協の方は手洗いの方で、私も「手洗いマイスター」という認定を受けているんですよ。

(森教育長)

九州でもいいんですけどね。良い事は褒めてあげないと。

はい、ありがとうございました。教育長及び委員の報告は以上でよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

それでは、議事に進みますが、今回は、報告事項が2件、付議事件が4件ございます。

まず、報告第6号「伊佐市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(大山総務課長)

それでは、報告第6号「伊佐市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について」説明いたします。

3ページになります。本件につきましては、委員の任期満了、2年間になるのですけれども、に伴う委員の任期更新及び一部の委員の異動や辞任によりまして、後任を4月1日付けで変更したものでございます。「伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第1項」の規定により臨時代理し、同条第2項に基づき報告するものでございます。今回は、委員5人のうち、3人が変更となります。異動等による欠員補充が大口高校校長であられました「山之内校長」から「大塚貞敏校長」へ、市校長会代表の大口東小校長の「北迫校長」から針持小校長「木場典子校長」へ、また、有識者代表の「村木委員」から辞任の願いがございましたので、後任といたしまして「時任俊明委員」へそれぞれ変更されております。「南久憲委員」と「横山初美委員」は再任となります。以上です。

(森教育長)

ただいま、事務局の説明がありましたけれども、何か質問等ありませんでしょうか。

無いようですが、報告の承認に入りますが、報告第6号については承認ということでよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

それでは、報告第6号は承認されました。

次に、報告第7号「伊佐市文化財保護審議会委員の委嘱について」を議題とします。

事務局より説明をお願いします。

(大山総務課長)

報告第7号「伊佐市文化財保護審議会委員の委嘱について」説明いたします。5ページになります。

本件につきましては、委員の任期満了、これは3年間なんですけれども、に伴う委員の任期更新に伴い、後任といたしまして4月1日付けで変更したものでございます。「伊佐市教育委員

会の行政組織等に関する規則第 24 条第 1 項」の規定により臨時代理し、同条第 2 項に基づき報告するものであります。

今回は、委員 5 人のうち、1 人が変更となります。新しい委員は、外部評価委員と同様となりますが、時任俊明様にお願いしております。

(森教育長)

任期が、新しくスタートするということで、新しい委員は時任俊明氏に委嘱するということでございますが。ただいまの事務局の説明について、ご質問、ご意見ありませんでしょうか。

(森教育長)

ご質問・ご意見、無いようですので、第 7 号については、承認ということでよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

報告第 7 号については承認されました。

続きまして、付議事件であります議案第 26 号「平成 29 年度伊佐市一般会計補正予算（第 2 号）について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(高崎学校教育課長)

はい、平成 29 年度伊佐市一般会計 6 月補正予算の内、学校関係、課所管分について説明いたします。

歳入から申し上げます。要求書の 1 ページをお開き下さい。県支出金、委託金、教育費委託金の教育総務費委託金の部分の英語教育強化地域拠点事業 91 万 5 千円の減額は、文科省から県教委を通じて経費を 56 万 5 千円以内とするように依頼があったものにより減額するものであります。

次に、歳出を説明いたします。要求書の 2 ページをお開き下さい。教育費、教育総務費、教育振興費、学力向上対策事業、節の旅費、普通旅費、2 万 5 千円は霧島市で開催されます教育開発委員会委員 2 名増員による旅費の増額でございます。

次に、3 ページをお開き下さい。フューチャースクール事業、節の備品購入費、その他備品 98 万 5 千円は県教職員定期人事異動による定数増 4 人分の教職員用ノートパソコン代でございます。

次に、4 ページをお開き下さい。英語教育強化地域拠点事業、報償費から備品購入費までの 92 万 4 千円の減額は、歳入で説明いたしました事業経費見直しによる減額でございます。以上で学校教育課所管、6 月補正予算要求の説明を終わります。

(大山総務課長)

次に、給食センターの所管分がございますので、説明します。7 ページ、最終ページになります。目 3 の学校給食センター費、学校給食事業、節 11 でございます。需用費の修繕料 209 万 7 千円につきましては、センター内の洗浄室でコンテナ搬入の際に、どうしても床面にキズがつく状態となっております。そこから、水が浸透いたしまして、老朽化を早めたり、不衛生になったりするので、たびたび補修を繰り返しておりましたけれども、今回、大規模な床面塗り替えの修繕を行うということで、強度を高め、衛生環境の改善に努めるということとしたものです。以上が、給食センター分と教育委員会所管の補正予算でございます。

(森教育長)

ただいま、補正予算についての説明がありましたけれども、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

(永野委員)

給食センターは何年目でしょうか。

(田中給食センター所長)

23年の4月に稼働していますので7年目になります。

(永野委員)

今、床のことで、コンテナが傷つけたのですか、使っている間の磨耗なんですか。

(田中給食センター所長)

どちらもあろうかと思います。200キロ前後のコンテナでございますので、それが毎日移動します。水を一番使うところが洗浄室でございます。ちょっと傷があれば床面に入っていくということになります。

(永野委員)

床、防水とかなると、責任施工制度をしているはずだから、大概、5年から10年の補償制度を付けるんですけど。それには但し書等があると思うんですけど、最低でも10年はもってもらわないと困るわけですよ。だから、今度、新しくされる時に責任施工の度合いをちゃんとしておいたほうが、もちろんされていると思うんだけど。前の時はどうされたか、今回は床に限定して工事をされる訳だから、10年はもたんといかんと思うですよ。それは分かったうえでとりあえずしますとなると毎年、5、6年に1回せんないかんとか、となるからしっかりしておいた方が良くと思います。

(大山総務課長)

今までも修繕はありました。

(永野委員)

床はどうしてもなるんですよ。普通でもったら10年だけれども、防水なんか昔は20年補償したんだけど、今はしないんですよ。自信ないから。5年なんですよ。あくまでも、それ以内は補償しますということだから。

(森教育長)

その他ないようですので、議決をしていきたいと思いますが、議案第26号「平成29年度伊佐市一般会計補正予算（第2号）について」皆様、賛成ということよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

賛成多数ということで、議案第26号については議決されました。

続きまして、議案第27号「伊佐市学校教職員等住宅管理規則の一部を改正する規則の制定について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

(大山総務課長)

議案第27号「伊佐市学校教職員等住宅管理規則の一部を改正する規則の制定について」説明いたします。8ページになります。

本件につきましては、規則に掲げております教職員住宅が 47 軒ございますけれども、普通財産への移管や取り壊しによって 2 軒を削る改正であります。ひとつは、曾木小学校教職員住宅 1 軒で旧大口南中の教頭住宅として使用していたものでありまして、すでに普通財産に切り替え済の物件であります。現在、売却のための公募を行っておる状況だそうです。

もう 1 軒は、大口中央中の教頭住宅でございまして、昨年、解体をいたしまして、現在は更地になっております。跡地を普通財産の方へ移管しましたので、これにより、現在の教職員住宅は市内で 45 軒ということになります。

(森教育長)

ただいま、説明がございましたが、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

(永野委員)

今、言ったのは 16 番と 39 番がなくなるということですね。

(大山総務課長)

そうです。

(森教育長)

そのほか、ございませんか。ご質問、ご意見ないようですので、議決をしていきたいと思いますが、議案第 27 号「伊佐市学校教職員等住宅管理規則の一部を改正する規則の制定について」皆様、賛成ということよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

賛成多数ということで、議案第 27 号は議決されました。続きまして、議案第 28 号「伊佐市学校給食センター運営委員の委嘱について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

(大山総務課長)

議案第 28 号「伊佐市学校給食センター運営委員の委嘱について」説明いたします。資料は 14 ページになります。本件につきましては、委員の任期が 1 年間ということになっておりまして、任期満了に伴う委員の任期更新及び委員の変更ということになりますが、6 月 1 日付けで変更となります。委員 19 人おりまして、19 人中、番号 1 の時任副市長、番号 8 の中村校長、番号 16 の今村議員の 3 人のみが再任となりまして、ほかの 16 人がすべて交替となります。

(森教育長)

ただいま、事務局から説明がございましたが、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(森教育長)

質問、意見ないようですが、議決に入ってよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

議案第 28 号「伊佐市学校給食センター運営委員の委嘱について」皆様、賛成ということによ

ろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

賛成多数ということで、議案第28号は議決されました。続きまして、議案第29号「伊佐市社会教育委員等の委嘱について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

(大山総務課長)

議案第 29 号「伊佐市社会教育委員等の委嘱について」説明いたします。資料は 16 ページになります。本件につきましては、委員の任期は 2 年間となっておりますが、関係団体の役員改選などによる委員の変更に伴いまして、委員は 14 人いらっしゃるんですが、後任の委員が 3 人変更になったということで、その 3 人を委嘱するものであります。以上です。

(森教育長)

ただいま、事務局から説明がございましたが、3名の委員の委嘱をお願いしたいということでございますが、よろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

質問、意見ないようですが、議決に入っていきたいと思います。議案第29号「伊佐市社会教育委員等の委嘱について」皆様、賛成ということでよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

賛成多数ということで、議案第29号は議決されました。

次に、「委員から提出された動議の討論等」に入ります。前もって提出された動議はありませんが、何かございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(森教育長)

無いようですので、「委員から提出された動議の討論等」を終わります。

その他の件に入ります。皆様のほうからありませんでしょうか。

(久保田委員)

はい。よろしいですか。先日、小中学校の保護者から「メディアに関するアンケート」を教育委員会の方から来たんですかね。社会教育課か学校教育課がしているのですかね。このアンケートの内容とか、結構、両面で3枚ぐらいあったのですかね。その内容というのを私も直接は見っていないのですが、親も真剣にアンケートには答えているので、集計・開示をきちんとしてほしいという意見がありました。私たちも知らなかったので、アンケートを見せていただければ、今後、私たちも目に触れさせてもらえればなあと思ったところです。

(大山総務課長)

何のアンケートですか。

(久保田委員)

「メディアに関するアンケート」で中学校が1・2・3年生、小学校が5・6年生といったかな。

(中村社会教育課長)

社会教育課では、「家庭教育に関するアンケート」については、お願いいたしました。「1日当たりのスマホを使う時間はいくらですか?」とか、家庭教育の内容についてです。

(森教育長)

3枚ぐらいですか。集計をしたら結果をしっかりと返すということ。

(中村社会教育課長)

学校には、集計については公表するというので、ご依頼しました。

(久保田委員)

私たちも見せてもらえるんですか。

(中村社会教育課長)

結果報告については、いたします。

(森教育長)

結果報告については、調査対象のみならず、それぞれの学校にして、これを調査したからには、何かの意図をもってした訳ですのでね。それをどう活かすかということを考えていかないといけないと思いますので。それは、課の方で考えていると思いますので。私も全国の教育長会に行って、家庭教育の部会に行きますと、非常に家庭教育というのは難しいところに入ってきている。家庭教育支援員という方々をつくって、その方々が訪問をしたりしているようだけれども、私もその会場で文科省に「もう少し詳しく説明してくれ」と言ったんですけど、時間等があまり無くて。文科省の方も一生懸命、家庭教育を支援していきたいと。社会教育課と連携していきたいと思います。

(中村社会教育課長)

教育長、内容を今、お持ちします。

(久保田委員)

先ほど話しましたとおり、コミュニティ・スクールの運営協議会の委嘱状を頂いたんですけど、他の学校の中で委員の委嘱を受けられた方というのは市内で5校なんですけれど、菱刈中はどなたが選ばれていっているのだろうと話が出て、委嘱状の名簿、一覧があるのであれば、多分これから研修会とか顔を合わすこともあるので、そういう情報もほしい、という意見もありました。

(森教育長)

今朝方、決裁が回ってきて、いましたけれども、菱刈中、菱刈小とも重なりがある人もいたようですが、それぞれの学校の校長が、こういう方がなってもらえれば一番、学校が充実していくんだがと、お願いしていますので。また、コミュニティ・スクールの研修会の中においては、それぞれの名簿を出していくかと思っております。

菱刈小は非常によく練って決めているような気がする。菱刈中はコミュニティの会長さんが入っていなかったり一心会の会長が入っていなかったりしている。もうちょっと考えた方がよかったかもしれないけれど。校長が一生懸命つくって考えたのを無下にだめ、差し戻すということには、しにくいものですから。

(久保田委員)

菱刈中の様子はどうですか。

(森教育長)

菱刈中は去年とすると、ずいぶん変わってきていて、学習に積極的でない生徒が3人ぐらいいます。走って回ったり、動き回ったりする訳ではないです。後ろの方で、はじかれてしまっているんです。居場所がなくなっているんです。学校にも行ったり、来なかったりして。その子どもがかわいそうになってきだしたりしてですね。何とかしてやらなくてはと思っているのですけれども。他の子どもたちは、次に、高校入試の方向に目が向きつつある。そちらの方に向いているのですけれども、家庭も複雑ですね、勉強をするような環境ではないんですよ。子どもだけの責任のある問題ではないようです。

(久保田委員)

コミュニティ・スクールになるのを良い機会に運営委員が保護者にも意見が言える立場であるので。ありがとうございます。

(森教育長)

運営委員の方、地域の方がもうちょっと子どもの面倒をみてあげるようになると良いと思います。教育相談員も常に関わっています。

(長野委員)

昨日の学校訪問に行った時でも、虫歯の治療に、お母さんしかなくて、そのお母さんが車を持っていないから、なかなか治療にいけないという話を聞いたら、ショックというか、かわいそうだなと思いました。

(森教育長)

それとか、お父さんとばあちゃんと子どもがいて、ばあちゃんは高齢、お父さんは仕事に行く、ばあちゃんが中学生の子どもの面倒をみる。見切れないところもあるようです。

(永野委員)

昔は地域とかいましたよ。親同士のコミュニケーションがあって、怒ってもらったりとかあったんですよ。今それが希薄になって。この前の寺園さんの話じゃないですが、一番大事なところが抜けていたのじゃないかと。それに気づいて文科省でも家庭教育とか、今頃言っている。

(森教育長)

今頃、家庭教育を何とかせんないかんと言っている。何とかせんないかんとというのは、よく分かるんだけど。ただ、指をくわえて待っている訳にはいけませんのでね、いろんな関係者、伊佐の場合は教育相談員をちゃんと設定しておりますから、学校との連携をとって、親の意識を変えていって親子が話せるような、家庭状況をつくってあげないと、と思います。

(森教育長)

その他ございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(森教育長)

ないようですので、これをもちまして平成29年第5回定例教育委員会を閉会します。

(万膳係長)

姿勢を正してください。一同礼。